

保護者の方向け 吃音についてのお話 Part 2

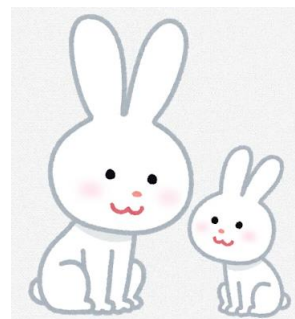
吃音は就学前（出始めから約3年以内）までに6～8割は自然に回復するとされています。しかし、お子様に吃音の症状が出ている時、どのようにかかわれば良いか迷う保護者の方も多いようです。

今回は吃音が出ているお子様への基本的なかかわり方をご紹介します。

基本的なかかわり方

①話を最後までしっかりと聞く

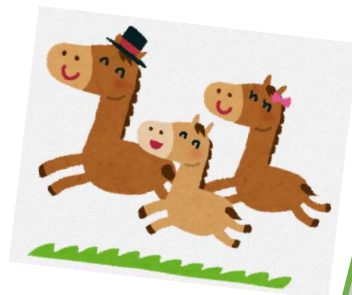
会話の先取りをしてしまうと、発話意欲が低下してしまうお子様もいるようです。



②話の内容に注目する

『話し方』に注目し、つかえたときに「ゆっくり話そう」と話し方のアドバイスをしたり、言い直しをさせたりすると、「この話し方はダメなんだ・・・」と落ち込んでしまうお子様もいるようです。

話したい気持ちを育む
ことが大切です。



上記①、②も特別なことではありませんが、お子様が安心感をもってお話をするための聴き手の大切な姿勢になります。

しかし、日常生活の中で、常に気を付けて会話を行うことはとても難しいことかと思えます。例えば、お風呂の間や寝る前の数分間だけでもゆっくりとお話をする時間を設けると、お子様にとってはとても貴重で楽しい時間になると思います。

【参考文献】

菊池良和（2015）『吃音のことがよくわかる本』講談社

菊池良和（2016）『子どもの吃音 ママ応援BOOK』学苑社